



感動の瞬間、新たな発見

校長 岡部 一郎

いよいよ10月です。前期もあと数日となり、子ども達は4月から各クラスで取り組んできたことを振り返っています。この振り返りでは、子ども達一人ひとりが目標に向かって努力してきたことを大切に、後期へとつなげていきます。保護者の皆様、また地域の皆様には様々な面でご協力いただきました。本当にありがとうございました。後期も、さらに教育活動が充実するよう取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は8月だけでなく9月も猛暑の日が続きました。熱中症計も日々嚴重警戒を示し、校庭に出て遊ぶことができない日もありました。子ども達の中には、思いきり体を動かしたい人もいたかもしれませんが、皆、教室での過ごし方を工夫して、猛暑の9月を乗り切ってくれました。9月下旬になり、暑さも落ち着き、やっと秋の訪れを感じています。子ども達は、この秋を元気いっぱい過ごしてほしいと思っています。

秋は、「読書の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」などと言われ、様々なことに積極的に取り組むことができる季節です。心地よい気候が集中力を高め、体を動かす意欲も高まってくるようです。では、読書、スポーツ、芸術（ここであげたものの他にもたくさんあると思いますが）などは、私たちにとってどんな意味があるのでしょうか。これは、私見ではありますが、これらは私たちの心や体を豊かにしてくれるものだと思っています。そして、これらへの興味や関心は一人ひとり違うことはいうまでもありません。

たくさんの本を読んで新しい知識を得ることやサッカー、野球、楽器演奏などの技能を高めること、また絵画や演奏によって、自分なりの表現をすることなど、その時には「できた!」「楽しい!」と思える感動の瞬間や新たな発見があるのではないのでしょうか。そして、子ども達には、このような思いをたくさんもってもらいたいと思っています。そのためには、まず様々な経験や体験をすることが必要です。また、その経験や体験は適切なもので、一人ひとりの成長につながるものであることも大切になります。

9月27日～28日には、6年生が「修学旅行（安曇野、松本方面）」に出かけました。この2日間の修学旅行には、感動の瞬間がたくさんあり、きっと新たな発見もあったのではないのでしょうか。修学旅行では、安曇野や松本といった横浜とは違う場所で様々な体験をしたこと、そこで出会った人たちと心の通うやりとりができたこと、2日間を友達と一緒に過ごしたことなどから、感動や発見が得られたと思います。そして、振り返りをすることで、感動や発見が子ども達の心の中に残っていく。このことが心や体を豊かにする将来へとつながると思っています。

この「秋」には、遠足や宿泊体験学習といった様々な行事があります。また12月には、全校をあげての「ふれあいコンサート」が予定されています。この体験や経験が、感動の瞬間や新たな発見を生み、子ども達の心や体が豊かなものになっていけばと思っています。きっと皆さんも感動の瞬間や新たな発見を経験していると思います。行事などの折に、ぜひ子ども達と話し合っただけければ幸いです。